

能のあらすじ 柳瀬 千穂

〔能〕 葛城

かすらき

出羽の羽黒山の山伏の一行(ワキ・ウキツレ)は、大和の葛城明神へ参詣に行く山道の途中で大雪に降られ、岩陰で休む。そこに里女(前シテ)が通りかかり、山伏達に自分の庵で晴れるのを待つように勧め、案内する。庵に着くと里の女は夢を焚いて山伏をもてなす。夢とは何かと問う山伏に、女は、この葛城山の雪の中で結い集めた木々の梢のことで、古の大和舞の歌の歌詞にもあると説明する。やがて夜になり山伏が勤行を始めようとすると、里女は感激し、ついでに自分の悩みの為にも祈って欲しいと願う。山伏が理由を問うと、里女は、自分は岩橋を架けることを遅らせた罪で縛められた葛城明神であると正体を明かし、姿を消す。その後山伏達が勤行していると、葛城明神(後シテ)が姿を現し、高天原の岩戸の舞を再現する。夜明けが近付くと、葛城明神は自分の容貌が日の目に晒されることを恥じて姿を消す。

〔能〕 鶺鴒

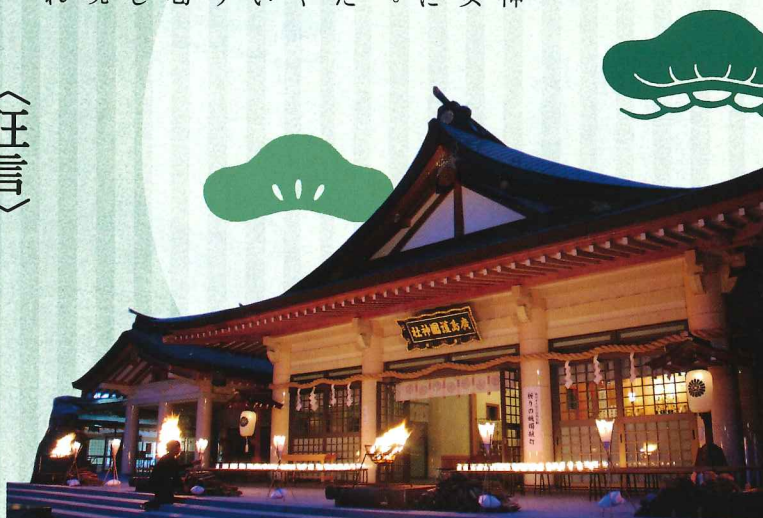
うかい

安房の国の旅僧とその従僧(ワキ・ウキツレ)が甲斐の国、石和に到着し、里人(間狂言)に一夜の宿を乞うが禁令のために断られ、怪奇現象のあるという廢堂に泊まる。そこに自身の生業の罪深さを嘆く鶺鴒の老人(前シテ)が現れる。旅僧と老人が言葉交わすうちに、従僧は、彼が三年前、近くの岩落(いわおち)という所で殺生の罪業を説いた鶺鴒その人であることに気付く。老人は従僧にその時の鶺鴒は亡くなったと教える。何故亡くなったかと問う旅僧に、老人は、鶺鴒が殺生禁断を犯し川に沈められた一部始終を物語り、自分はその鶺鴒の亡霊であると明かす。そして吊って下さったなら鶺鴒の有様をお目にかげようと鶺鴒漁の様子を再現し、やがて姿を消す。僧達がか川原の石ひとつひとつに法華経を一字一字書き付け、波間に沈める供養を行っている、地獄から閻魔王(後シテ)が現れ、法華経を讀え、その功德により鶺鴒が極楽往生したことを告げる。

〔狂言〕 仏師

ぶっし

ある田舎者がお堂を建立し、本尊の仏像を用意しようと都へ仏師を探しにやってくる。往來の中を大声で探していると、都のすっぱ(いたずら者)が自分こそ真仏師(正統派の仏師)だと言って近寄ってくる。すっぱは口から出任せで田舎者を信用させ、仏像を翌日までに作る約束をする。翌日、田舎者が約束の場所へ行くと…。田舎者の注文に慌てるすっぱの姿が笑いを誘います。中世の人間のおおらかなやりとりをお楽しみください。



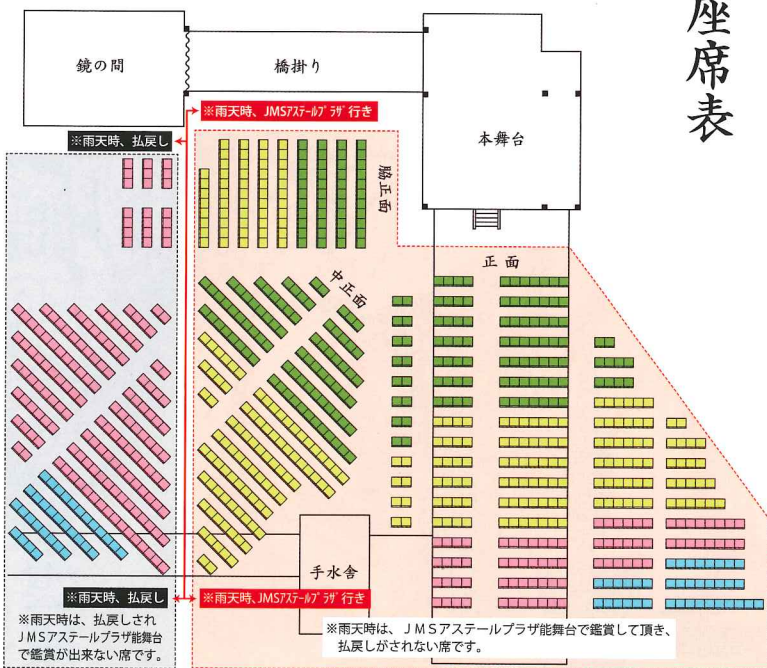
座席表

SS席	13,000円
S席	10,000円
A席	8,000円
B席	5,000円

※場内での撮影、録音は固くお断りいたします。
※場内での時計のアラーム、携帯電話の電源はお切り下さいようお願い致します。
※出演者は、都合により変更させて頂く場合がございますので予めご了承下さい。



<アクセス>
バスセンターより徒歩約8分
アストラムライン県庁前より徒歩約8分
JR広島駅よりタクシーで約10分
※駐車場はありませんので公共交通機関をご利用下さい。



雨天時のお問い合わせ先

雨天時の会場変更の通知は、広島護国神社のホームページで行います。また、お問い合わせも神社へお願いします。

URL: <http://www.h-gokoku.or.jp/>
☎082-221-5590

※雨天時の払い戻しチケット(A席、B席の一部)の対応は、神社でのみ行います。

【入場券販売所】

広島護国神社・エディオン広島本店プレイガイド
福屋広島駅前店チケットサロン・中国新聞社読者広報部

【問い合わせ先】 広島蠟燭薪能の会

広島市中区基町21-2(広島護国神社 内) TEL 082(221)5590(9:00~17:00)

広島蠟燭薪能 粟谷能の会 能楽協会 広島護国神社 検索